

感染症拡大防止時における 災害避難所の対応策は

避難者の状態や災害状況に あわせ柔軟に対応する



中倉 広文 議員

新型コロナウイルス感染症が全国的に広がる中では、これまでの災害時避難者支援マニュアルが通用せず、誤った対応にもなりかねない。感染症拡大防止時に避難者を避難所に受け入れる場合、どのような対応が必要か。

身体の状態や災害の状況 により柔軟に対応する

町長

避難者を受け入れる際、体温測定や問診などを実施した後、避難者の状態や特別な配慮が必要な方などを見極め、職員などがそれぞれの避難スペースへ誘導する。世帯ごとの避難スペースを広げることで避難場所

が不足する場合も想定されるので、他の避難場所を開設するなど、災害の規模などにより柔軟な対応をとりたい。

支援スタッフは事前に 情報を共有すべき

中倉議員

災害支援に関わるスタッフへは、避難行動マニュアルや避難行動支援者名簿などの情報を提供し、災害発生時の避難誘導などを瞬時に判断、行動ができるよう体制をとっておくべきである。平時から情報共有の機会を設けるべきではないか。

連携が取れるよう検討する

町長

現在、要支援者名簿は必要に応じて関係者に提供しているが、平時からの準備も必要なので、関係機関への情報提供と、連携がうまくとれるよう今後検討していきたい。

がんばる地域応援交付 金の拡充はできないか

中倉議員

一定の安全が確保されていれば、近隣の知人宅も避難所になりえる。そのためには、日常から自治公民館組織や地域のコミュニケーションをさらに深めておく必要がある。本町のがんばる地域応援交付金事業を拡充し、それぞれの地域活動がさらに活発になるような施策はできないか。また、自治公民館の枠を超えた地域連携の活動に対して交付金を創設すれば、自治公民館未加入者との交流も深まり、災害時の共助のみならず、さまざまな課題解決の糸口につながるのではないか。

大変貴重な提案である

町長

がんばる応援交付金をさらに拡充することで、各自治公民館や地域の課題解決のための取組みにつながるなど大変貴重な提案なので、今後十分検討していく。



デジタル教科書の活用による授業

学校ICT教育の目的は

中倉議員

学校ICT教育について、現在実行に向けて準備を進めていると思うが、ICT教育本来の目的は何か。

自ら考え行動できる 人間の育成である

教育長

ICT教育を含めた教育目的は、自ら考え行動する創造的な人間の育成であり、このような人材を育成する効果的な方法の一つがICT教育である。

事前研修を実施しているか

中倉議員

使用される学校現場の先生方

に対して、機器の使用法や学習指導法などの事前研修を実施しているか。

各学校の代表者に実施

教育長

これまで先進校などでICTを活用されてきた各学校の先生方で研修を受け、その先生方がそれぞれの学校で広げるような対応をとっている。

支援体制を充実すべきだが

中倉議員

教職員の新たな負担を軽減するため、ICT教育に精通した人材や業者をサポートを依頼すべきではないか。

さまざまな方面からの 支援を検討していく

教育長

文部科学省のICT教育アドバイザーの活用と、GIGAスクールサポーターからの支援を考えている。またICT支援員は地域おこしなどの人材を募集したい。

※ICT教育とは情報通信技術の利用活用方法を取り入れた教育のこと